

工 法 の 名 称		埋 込 み 工 法
分 類 表 に よ る 工 法 名		ブレボーリング拡大根固め工法
工 法 名		ニーディング工法 (セメントミルク根固め拡底)
施 工 法	概 要	<p>土砂攪拌バーと孔壁練り付けドラムを装備した専用ロッドを用いて、先端より水(掘削液)を吐出しながら孔内の土を泥化し、練り付けながら掘削孔を築造し、特殊先端刃を沓部に装着した杭を孔に挿入し、掘削回転させて支持層中のセメントミルク拡大根固め球根内の所定位置に設置する工法である。</p> <p>この工法には、杭周固定液を使用する方法と使用しない方法とがある。</p>
	施 工 順 序	
	支持力発現方式	セメントミルクによる杭先端拡大根固め
支 持 層 の 確 認 方 法		土質柱状図とオーガ掘削時の電流値との比較
支 持 力 算 定 方 式		<p>① 杭周固定液を使用する場合</p> $R_a = \frac{1}{3} \left\{ \alpha \bar{N} A_p + \left(\frac{1}{5} \bar{N}_s L_s + \frac{1}{2} q_u L_c \right) \phi \right\}$ <p>但し、$\bar{N}_s \leq 25$, $q_u \leq 10 \text{ t/m}^2$</p> <p>② 杭周固定液を使用しない場合</p> $R_a = \frac{1}{3} (\alpha \bar{N} A_p + 1.5 L \phi)$ <p>$\alpha = 25 \dots \dots \dots (l \leq 90D)$ $\alpha = 25 - \frac{1}{4} (l/D - 90) \dots \dots \dots (90D < l \leq 110D)$</p>
施 工	施 工 地 盤	流水の激しい地盤及び崩壊しやすい地盤は検討が必要
	施 工 能 率	(500φ~40m) 120~160m/日
公 害	騒音(音源より30m)	70ホン以下
	振動(振源より10m)	60デシベル以下
	他 の 事 項	